

Noh for high school students

第十五回

高校生のための
能楽鑑賞会

巴

TOMOE

参加無料

〈要予約〉
220名先着順

2023. 11. 19 (日)

開演 14:00 開場 13:30

(16:30頃 終演予定)

会場 大槻能楽堂

主催 公益社団法人能楽協会 大阪支部

後援 大阪府教育委員会 大阪市教育委員会

能・狂言は600年以上、一度も途切れることなく続いている日本の演劇で、ユネスコ無形文化遺産にも登録された日本の大切な文化です。

狂言「^{たちうばい}太刀奪」

主人は太郎冠者を連れて北野天満宮の祭礼に出掛けます。二人は賑やかな市場で立派な太刀を持つ者(道通り)を見掛けます。太郎冠者は主人のためにその太刀を盗み取ろうとしますが、道通りに気付かれて散々に脅され、主人から預かった小刀も取り上げられてしまいます。仕方なく主人の元に帰った太郎冠者はきつく叱られますが、祭礼の終わりの時分に道通りを待ち伏せ、小刀を取り返そうと試みます。太刀を前にした太郎冠者の奮闘が楽しい狂言です。

能「^{ともえ}巴」



「巴」 ©公益社団法人能楽協会

木曾在住の僧が都へ上る途中、近江の木曾義仲を祀る神社で一人の女性に出会います。涙を流す姿に不審に思い話し掛けると、女性は義仲の霊を慰めてくれるように頼み、草陰に姿を消します。(中入) その夜に僧が申うと、長刀を持った甲冑姿の巴御前が現れ、義仲の最後を語ります。自害した義仲の遺言により、一緒に死ぬことを許されず、義仲の残した形見を持って木曾へ落ち延びたことを恨み、僧に回向を頼み消え失せます。

修羅物の能の中で、この「巴」のみが女武者を主人公としています。自分が死んだ場所ではなく、愛する人の死んだ場所での回顧というのも他の修羅物とは違い、幽玄性が強調されているように思います。舞台上には巴御前一人しか登場しません。皆さんの想像力をもって、登場しない義仲の姿をご覧ください。

第十五回

高校生のための能楽鑑賞会

◆狂言「^{たちうばい}太刀奪」シテ 善竹 隆平

◆能「^{ともえ}巴」シテ 武富 康之

令和5年11月19日(日) 14時開演(13時半開場)※16時半終演予定

参加無料 会場 **大槻能楽堂**

但し、申込みが必要となります

【対象】高校生および引率教諭(教諭のみでは参加は出来ません)

【定員】220名先着順

【申込方法】●氏名 ●学校名 ●連絡先(メール)を明記の上、申込先までメールにてお申込みください。

学校単位でのお申込みは、◆学校名 ◆参加人数

◆引率(担当)教諭名と連絡先(メール)を明記ください。

【申込受付期間】

令和5年10月30日(月)～11月13日(月)

【申込先・お問い合わせ先】

koukousei.nougaku@gmail.com(守家由訓)



【大槻能楽堂へのアクセス】



- Osaka Metro「谷町四丁目」下車、⑩号出口を出て南へ約300m。(⑪号出口にエレベーター有り)または「谷町六丁目」下車、⑦号出口を出て約350m。(⑦号出口にエレベーター有り)
- 大阪シティバス「国立病院」下車南へすぐ、※大阪駅前から62号系統「住吉車庫前」行乗車。※「あべの橋」(天王寺)から62号系統「大阪駅前」行乗車。

●●●●● 申込頂きました方には返信メールを差し上げますので、パソコンからの受信可能な環境でお待ちください。●●●●●

本公演における写真撮影・テープ録音・携帯電話等にての撮影・録音は著作権・肖像権に触れますのでご遠慮いただきますようお願いいたします。